

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

てんねんきねんぶつ

天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】 笠岡市大島中

【時代】 樹齢300年以上

【指定年月日】 昭和46年10月15日

【所有】 竹田稲荷神社

【見学】 可

たけだいなりのあべまき

竹田稲荷のアベマキ

かんけい しまち
関係する市町

かさ おかし
笠岡市



てんねんきねんぶつ

この天然記念物について

みたけさん おおしまなか
御獄山の北側のふもとと県道寄島笠岡線の南側に、大島の
たけたいなりじんじゃ しゃでん
竹田稲荷神社があり、社殿のすぐ横に、1本の大きなアベマキが
しゅうい しゅうい
立っています。幹の周囲3.5m、根元の周囲4.8m、高さ21m、
すいていじゅれい
推定樹齢約300年です。

たけだいなりのじんじゃ たけだ はぶ
竹田稲荷神社は、大島中の竹田・土生地区の土地を守る神様
わたなべよしろう しつきぐんきのこむら
で、元和3（1617）年渡辺与四郎が後月郡木之子村（現井原市
さいざき いなり
木之子町）から当地へ来て、木之子村才崎の城中にあった稲荷
じんじゃ やしきうら しゅごしん まつ
神社を屋敷裏のマキの木の下へ守護神として祀ったのがはじめ
とされています。